

# 「板柳町人口ビジョン」【2020年改訂版】の概要

## 「板柳町人口ビジョン」の位置づけ

町における人口の現状と、将来の展望を提示する「板柳町人口ビジョン」を策定し、「りんごの里板柳」の更なる推進を図るため、人口減少をめぐる課題について町民と認識を共有し、共に取り組んでいくための情報を提供するものです。

## 現状分析

### 現状

2019年の自然増減数は、▲164人、社会減は▲68人となっていますが、今後もこの傾向は続き、人口減少、少子高齢化が進行し、国立社会保障・人口問題研究所推計によれば、2015年に13,935人であった総人口は、2060年には10,216人減少し、3,719人となり、65歳以上人口が60.9%となります。

### 人口減少の要因

- ・自然減…未婚化や晩婚化、子育てにかかる経済的負担の不安から出生数が減少し、合計特殊出生率が低水準で推移していることや、人口構造の高齢化によって死亡数が高水準で推移していること。
- ・社会減…若年者が進学や就職を機に首都圏や県外、他市町村へ転出していること。

### 将来の方向

今後、町が人口問題に対応し、将来にわたって人口規模を維持していくためには、出生率の向上や寿命の延伸による自然動態の改善と、移住・定住人口の増加による社会動態の改善を図り、人口減少に歯止めをかけることが必要です。

## 人口減少問題克服に向けた取り組み

人口減少の克服と町の創生に取り組むため、地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する「第2期板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、出生率の向上や寿命延伸による自然動態の改善と移住・定住人口の増加による社会動態の改善を図ります。

## 3つの政策分野

### 1 未来につなげる産業づくり

町外への転出の抑制や町外からの移住を進めるため、生活の基盤となるしごとづくりとして、町の基幹産業である農業への就農促進や商工業の振興を図ります。

### 2 健康で子どもを育むまちづくり

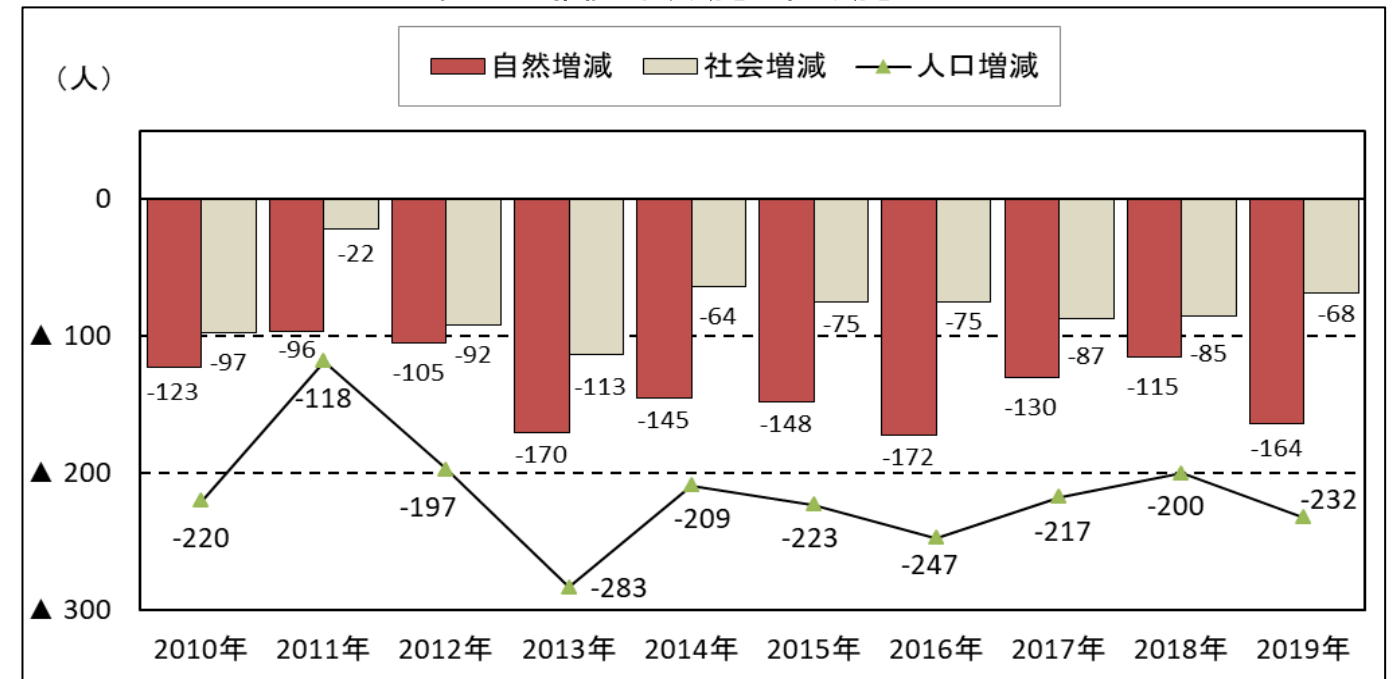
町民寿命の延伸による人口減少スピードの抑制を図るため、町民一人ひとりの健やかな暮らしや、スポーツを通じた健康づくりなどを促進します。

また、町の宝「子ども」たちが、町で生まれ、希望を持って成長し、その希望を実現するための環境づくりや、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てなどを支援していきます。

### 3 住みたいと思えるまちづくり

首都圏等の人材の受け入れや若い世代の定着を図るため、魅力ある生活環境づくりや人にやさしい社会環境づくりを進めます。

総人口の推移・自然動態・社会動態



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

## 人口の将来展望

人口減少を4割程度にとどめて、2060年の人口を5,226人とすることを目標とします。人口構造の若返りにより、高齢化率が2045年をピークに減少傾向で推移し2060年では44.6%程度に抑えられます。  
<仮定>

- ・合計特殊出生率…2019年は1.19。2030年に1.8、2040年に2.07を達成し以後維持する。
- ・社会増減…2020年以降に社会減が縮小し始め、2045年に移動均衡に達する。

